

# Neuro2013

第36回日本神経科学大会  
第56回日本神経化学会大会  
第23回日本神経回路学会大会  
合同大会

## 募金趣意書

会期:2013年6月20(木)~23日(日)

会場:国立京都国際会館

主催:Neuro2013

第36回日本神経科学大会

第56回日本神経化学会大会

第23回日本神経回路学会大会 合同大会

## ご挨拶

この度、第36回日本神経科学大会、第56回日本神経化学会大会ならびに第23回日本神経回路学会大会が、2013(平成25)年6月20日(木)から23日(日)の4日間、国立京都国際会館にて、「Neuro2013」と称して、合同で開催される運びとなりました。3学会での合同大会は、2007、2010に続いて、3回目となります。

これに加えて今回は、第11回世界生物学的精神医学会国際会議/ The 11th World Federation of Societies of Biological Psychiatry (WFSBP) 6月23日-27日(同会場)との連携開催として、共同シンポジウムや参加費の割引などを検討しているところです。

元来、脳研究は、ハードウェアとしての脳・神経の生物学的な研究から、その動作原理を探る計算論的研究まで、学際的な研究体制が必要とされる点が特徴であります。特に今回の合同大会は、生物学的精神医学をも視野に入れた、脳・神経研究の幅広い分野をカバーする大会となります。

21世紀は脳の世紀と言われておりますが、とりわけ、2010年からの10年間を「精神疾患の10年」としようではないか、と提唱されており、これまで大いに進歩した神経科学を元に、精神疾患という、謎の疾患の解明を進めようという機運が高まっています。神経科学が盛んで、高度に発展した医療体制を持ち、精神疾患に取り組むことのできる国は、世界でもわずかです。脳研究が国家的に推進され、高度の脳神経研究の基盤を持ち、多くの脳神経研究者を擁するわが国には、うつ病、認知症を初めとする、社会的に大きな影響を与えている精神神経疾患を解明する責務があると言っても過言ではありません。

そのためにも、基礎研究の推進は欠かせません。最近のオプトジェネティクス、ブレインマシンインターフェースなどの高度の研究技術の発展は、ニューロフィードバックなど、新たな応用可能性への方向をも指し示しています。基礎研究と臨床研究が融合した、新たな脳神経科学が、今まさに花開こうとしています。

Neuro2013では、学際性・国際性の推進、臨床との連携、および若手育成を目指し、WFSBPとの連携を初めとする幅広い分野からの参加の促進、4人の外国人研究者によるプレナリー講演、すべての学術セッションの英語での実施、アジアを中心とするトラベルアワード、臨床連携プログラム、若手によるポスターおよび一般口演の重視などを行っていきます。

つきましては、貴社のご協力を賜りたく、下記のとおりご案内申し上げます。多数のご応募をお待ちいたしております。

末筆になりましたが、貴社の今後益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

第36回日本神経科学大会  
大会長 加藤 忠史  
(理化学研究所 脳科学総合研究センター)

第56回日本神経化学会大会  
大会長 木山 博資  
(名古屋大学大学院医学系研究科)

第23回日本神経回路学会大会  
大会長 五味 裕章  
(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

# 開催概要

1. 名称: Neuro2013

第 36 回日本神経科学大会  
第 56 回日本神経化学会大会  
第 23 回日本神経回路学会大会  
合同大会

2. 大会長

第 36 回日本神経科学大会  
加藤 忠史(理化学研究所脳科学総合研究センター)  
第 56 回日本神経化学会大会  
木山 博資(名古屋大学大学院医学系研究科)  
第 23 回日本神経回路学会大会  
五味 裕章(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)

3. 開催期間:2013(平成 25)年 6 月 20 日(木)~23 日(日)

4. 会場:国立京都国際会館

〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池

5. 予定参加者数:5,000 名

6. 大会事務局

株式会社コングレ  
千葉 義之、村田 由里  
〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル  
TEL:03-5216-5318 FAX:03-5216-5552  
E-mail:staff@neuro2013.org

7. 会議の目的と性格

最近の脳神経研究の進展はめざましいものがあります。これは、本研究分野を構成する分子、遺伝子、細胞、神経回路、行動、理論などの各階層において、新しい方法論や研究パラダイムが続々と出現し、さらにこれらを統合して基礎と応用を結び付けていく研究が進展していることに大きく依っています。理学、医学、薬学、農学、工学から、人文社会科学の諸分野に至るまで、幅広い分野が共同、融合して、ブレイン・マシン・インターフェース、神経経済学など新たな分野が創成され、それらを包含しながら本研究分野は発展を続け、社会に与える影響もますます大きくなっています。

このたび、日本の脳神経研究の中心となっている 3 つの学会—日本神経科学学会・日本神経化学会・日本神経回路学会—が、英語を公用語とする国際型の合同大会、Neuro2013 を開催いたします。このような試みは、上述の融合型の脳神経研究を推進する上でわが国ばかりでなくアジア等発展途上国の脳研究推進に新しい力を生み出すものと、その大きな役割が期待されております。特に、今回の合同大会では、第 11 回世界生物学的精神医学大会と連携することにより、臨床医学との融合も一つの柱として、さらに幅広い脳神経科学をカバーする大会を目指しています。このため Neuro2013 では、学際性・国際性の推進、臨床との連携、および若手育成を目指し、WFSBP との連携を初めとする幅広い分野からの参加の促進、4 人の外国人研究者によるプレナリー講演、すべての学術セッションの英語での実施、アジアを中心とするトラベルアワード、臨床連携プログラム、若手によるポスターおよび一般口演の重視などを行っています。

8. 計画の概要

(1)会議の構成

プレナリーレクチャー、シンポジウム、一般演題、ポスターセッション、総会等

(2)ポスターセッションとは別に、テーマ展示ならびに機器・医薬品展示会の開催

9. 寄附金を必要とする理由

Neuro2013(第36回日本神経科学大会、第56回日本神経化学会大会、第23回日本神経回路学会大会)の開催に要する費用は総額91,247,500円と推計されます。これらの諸経費は、参加費、学会からの補助金で賄われるべきではありますが、個人参加者の負担には限度があります。

節約による経費削減に努め、必要経費の圧縮を図る方針でございますが、相当額を個人あるいは企業からの賛助に頼らなければならないのが実情でございます。

必要経費91,247,500円のうち、参加登録費38,120,000円、抄録関係費6,000,000円、補助金1,000,000円、展示収入14,847,000円、共催セミナー開催費12,810,000円を除く17,000,000円を寄附金により充当したいと考えております。

本学会を成功させるべくご寄附をお願いするものであります。諸事多端の折から、誠に恐縮ではございますが本合同大会の将来性をご賢察の上、何卒格段のご援助ならびにご高配賜りますようお願い申し上げます。

10. プレナリーレクチャー海外招聘者(予定)

- 1) Prof. Miguel Nicolelis  
Duke University Medical Center
- 2) Prof. Maiken Nedergaard  
University of Rochester Medical Center
- 3) Prof. Fred Gage  
Laboratory of Genetics, Salk Institute

## 11. Neuro2013 委員一覧

### 大会長

加藤 忠史	理化学研究所脳科学研究センター
木山 博資	名古屋大学大学院医学系研究科
五味 裕章	NTT コミュニケーション科学基礎研究所

### 実行委員長

上口 裕之	理化学研究所脳科学研究センター
山田 清文	名古屋大学大学院医学系研究科
池田 和司	奈良先端科学技術大学院大学

### 実行委員

藤井 直敬	理化学研究所脳科学研究センター	細谷 俊彦	理化学研究所脳科学研究センター
工藤 喬	大阪大学大学院医学系研究科	橋本 均	大阪大学大学院薬学研究科
小川 正	京都大学大学院医学研究科	森本 淳	国際電気通信基礎技術研究所

### プログラム委員長

柴田 智広	奈良先端科学技術大学院大学
糸原 重美	理化学研究所脳科学研究センター
小泉 修一	山梨大学大学院医学工学総合研究部

### プログラム委員

塩坂 貞夫	奈良先端科学技術大学院大学	加藤 總夫	東京慈恵会医科大学
合田 裕紀子	理化学研究所	仙波 恵美子	和歌山県立医科大学
鍋倉 淳一	自然科学研究機構	糸原 重美	理化学研究所
真鍋 俊也	東京大学	藤井 直敬	理化学研究所
渡辺 雅彦	北海道大学	橋本 均	大阪大学
岡村 康司	大阪大学	黒田 公美	理化学研究所
細谷 俊彦	理化学研究所	岡村 均	京都大学
岡部 繁男	東京大学	岡ノ谷 一夫	理化学研究所
池中 一裕	自然科学研究機構	銅谷 賢治	沖縄科学技術研究・交流センター
中島 欽一	奈良先端科学技術大学院大学	宮川 剛	藤田保健衛生大学
小泉 修一	山梨大学	山田 清文	名古屋大学
五嶋 良郎	横浜市立大学	工藤 喬	大阪大学
上口 裕之	理化学研究所	那波 宏之	新潟大学
等 誠司	自然科学研究機構	高橋 良輔	京都大学
高橋 淑子	奈良先端科学技術大学院大学	山中 宏二	理化学研究所
仲嶋 一範	慶應義塾大学	山脇 成人	広島大学
澤本 和延	名古屋市立大学	岩坪 威	東京大学
相澤 慎一	理化学研究所	田口 明彦	(財)先端医療振興財団先端医療センター
影山 龍一郎	京都大学	高橋 英彦	京都大学医学部附属病院
林 康紀	理化学研究所	内匠 透	広島大学
小川 正	京都大学	須原 哲也	(独)放射線医学総合研究所
内藤 栄一	(独)情報通信研究機構	池田 和司	奈良先端科学技術大学院大学
今水 寛	(独)情報通信研究機構	森本 淳	国際電気通信基礎技術研究所
伊佐 正	自然科学研究機構	柴田 智広	奈良先端科学技術大学院大学
藤田 一郎	大阪大学	神谷 之康	国際電気通信基礎技術研究所
谷藤 学	理化学研究所	八木 哲也	大阪大学
津田 誠	九州大学	中井 淳一	埼玉大学
東原 和成	東京大学	八尾 寛	東北大学

南部 篤	自然科学研究機構	佐倉 統	東京大学
柏野 牧夫	日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所	Ole Kiehn	Mammalian Locomotor Lab, The Karolinska Institute, Sweden
金子 武嗣	京都大学	Minho Lee	Kyungpook National. University
河田 光博	京都府立医科大学	Eric Klann	Center for Neural Science New York University

組織委員

岡野 栄之	慶應義塾大学	竹市 雅俊	理化学研究所
金澤 一郎	国際医療福祉大学	津本 忠治	理化学研究所
川人 光男	ATR脳情報通信総合研究所	遠山 正彌	大阪大学
木村 實	玉川大学	中西 重忠	(財)大阪バイオサイエンス研究所
祖父江 元	名古屋大学	鍋島 俊隆	名城大学
高坂 新一	国立精神・神経医療研究センター	御子柴 克彦	理化学研究所
高井 義美	神戸大学		

## 12.収支予算案 (単位:円)

		収入の部	
	項 目		金 額
	1. 大会参加費		38,120,000
	2. 懇親会		2,545,000
	3. 共催セミナー		12,810,000
	4. 展示会		14,847,000
	5. 広告掲載		3,823,500
	6. 寄附金		17,000,000
	7. 託児所収入		102,000
	8. 学会準備金		2,000,000
	合 計		¥91,247,500
		支出の部	
	項 目		金 額
	1. 事前準備費		<u>22,348,435</u>
	(1) 事務局人件費	事務局人件費	2,865,000
	(2) 事前登録関係費	事前登録関係費	2,302,835
	(3) 演題処理関係費	演題処理関係費	4,040,000
	(4) ホームページ制作関係費	ホームページ制作関係費	1,500,000
	(5) 電子版スケジュール等関係費	電子版スケジュール等関係費	1,722,500
	(6) 印刷・製作費	印刷・製作費	8,158,500
	(7) 通信費等	通信費等	1,759,600
	2. 当日運営費		<u>57,371,005</u>
	(1) 会場費	会場費	14,327,040
	(2) 機材・音響・備品関係費	機材・音響・備品関係費	12,540,100
	(3) 看板・ポスター会場関係費	看板・ポスター会場関係費	5,908,400
	(4) 展示会場関係費	展示会場関係費	1,450,000
	(5) インターネットコーナー	インターネットコーナー	202,000
	(6) 人件費	人件費	7,820,000
	(7) 招待者関係費、その他旅費交通費	招待者関係費、その他旅費交通費	6,052,000
	(8) 懇親会費	懇親会費	2,545,000
	(9) 会議費	会議費	3,984,800
	(10) 市民公開講座関係費	市民公開講座関係費	1,741,665
	(11) その他経費	その他経費	800,000
	3. 事後処理費		<u>3,241,000</u>
	4. 業務委託費		<u>2,536,500</u>
		消費 税	4,274,847
		予 備 費	1,475,713
	合 計		¥91,247,500

### 13.大会事務局

株式会社コングレ

担当／千葉 義之・村田 由里

〒102-8481 東京都千代田区麴町 5-1 弘済会館ビル

TEL:03-5216-5318 FAX:03-5216-5552

E-mail:staff@neuro2013.org

大会ホームページ:<http://www.neuro2013.org/>

# 寄附金募集要項

## I. 募金の名称

Neuro2013

(第36回日本神経科学大会・第56回日本神経化学学会大会・第23回日本神経回路学会合同大会)

## II. 募金目標額 17,000,000 円

## III. 寄附金の使途

Neuro2013(第36回日本神経科学大会・第56回日本神経化学学会大会・第23回日本神経回路学会合同大会)及び関連諸行事の開催、運営費に充当します。

## IV. 寄附金募集責任者

加藤 忠史 第36回日本神経科学大会 大会長

木山 博資 第56回日本神経化学学会大会 大会長

五味 裕章 第23回日本神経回路学会大会 大会長

## V. 寄附金申込書送付先

寄附金は下記のいずれかへのお申込となります。なお、お申込の際は趣意書に綴じ込みの寄附金申込用紙にご記入の上、FAX(03-5216-5552)にてお送りください。

### 学会銀行口座

銀行名: 三菱東京UFJ銀行 麹町支店

店番号:616

口座番号: 0123413

口座名: Neuro2013 代表 加藤 忠史

(ニューロセンシユウサンダイヒョウカトウタダフミ)

**【免税措置】**学会開設口座への寄附金には免税措置は講じられません。

## VI. 本合同大会に関するお問い合わせ

Neuro2013 大会事務局

株式会社コングレ 担当/千葉 義之・村田由里

〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル

TEL 03-5216-5318 FAX 03-5216-5552

E-mail [staff@neuro2013.org](mailto:staff@neuro2013.org) 大会ホームページ <http://www.neuro2013.org/>

FAX 送信先: 03-5216-5552

## Neuro2013 募金申し込み

(募金申込書)

【申込先】 Neuro2013 大会事務局  
(株)コングレ 村田  
TEL: 03-5216-5318  
E-mail: staff@neuro2013.org

「募金趣意書」に従い、下記の通り申し込みます。

平成 年 月 日

フリガナ			
貴社名			
ご住所	〒		
フリガナ			
ご担当者名	印		
ご所属			
役職			
TEL		FAX	
E-mail			
募金額	円		

### ◆その他希望事項


※必ずコピーを取り、控えをお持ち下さい。